

戦後70年、戦争と平和を考える ～戦争をくぐった生き証人から学ぶ～

京都教育センター研究集会

第1日目 全体会 19日(土) 13:00～17:00 教文302

記念講演



「戦争責任をどうとらえるか ～学校・教師の戦争責任を問う～」

講師 佐藤 広美 氏

(東京家政学院大学教授／教育科学研究会副委員長)

戦争をくぐり、教師として戦後を生きた証人の語り

とある
安井 亨さん (86歳)

京都師範学校の学徒動員で舞鶴海軍工廠へ。45年7月、空襲で9人の学友を失う。1949年より母校で教壇に。丹後と山城で教鞭をとり、「はぐるま研・文芸研」の実践家。井手小の校長として定年退職。

ひさ
黒田 寿子さん (89歳)

京都女子高等専門学校の学徒動員で島津へ。45年3月、姉宅で神戸大空襲。1947年より明德高女で教鞭をとりながら劇団活動にも参画。市立北野中で学テ闘争。京教組婦人部長など専従役員7年。



交流懇親会 17:30～19:30 教文センター1階 レストラン

*どなたでも参加歓迎、前日までに申し込みをお願いします。会費 3,000円

第2日目 分科会 20日(日) 10:00～16:00 教文センター全館

京都教育センターの各研究会が企画運営します。

- 1 地方教育行政 (301)
- 2 生活指導 (302)
- 3 学力・教育課程 (203)
- 4 発達問題 (204)
- 5 子どもの発達と地域 (202)
- 6 家庭教育・民主的カウンセリング (205)
- 7 高校問題 (302B)
- 8 教科教育 国語部会 (地域公益事業室)
- 9 障害児教育 (101)

協賛企画 教文103

大口満 絵画個展

(元新潟上越高校教諭、主体美術協会会員)

12月20日(日)～24日(木)

～ご自由に参加、鑑賞してください～

日時 12月19日(土)20日(日)
会場 京都教育文化センター

京都市左京区聖護院川原町 4-13 ☎ 075-771-4221
京阪電車「神宮丸太町」駅5番出口より徒歩3分

参加費(資料代)500円 [学生無料]